

第8回高校生天文活動発表会～天文高校生集まれ～

プログラム

2018年7月6日

高校生天文活動発表会実行委員会

大阪教育大学

2018年7月16日 於大阪教育大学 天王寺キャンパス 西館ホール

9:30 受付

10:00 開会行事 実行委員長挨拶
会場地挨拶

セッション1

10:05 ①クレーターに伴うレイの構造の解明 (大阪教育大学附属高校天王寺校舎)

10:20 ②アリストアルコスに挑む (京都府立桃山高校)

10:35 ③一晩を通して月の大きさを測定 (姫路市立姫路高校)

10:50 ④極小期の太陽の活動領域 (滋賀県立米原高校)

休憩 (15分)

セッション2

11:20 ⑤51 ネマウサの形状～恒星食観測・多色測光観測から～ (愛知県立一宮高校)

11:35 ⑥トランジット法を用いて系外惑星を観測する (奈良県立青翔高校)

11:50 ⑦変光星の光度変化とスペクトルの関係 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校)

12:05 ⑧CM図を用いたM67までの距離と年齢の測定 (智辯和歌山高校)

昼食 (50分) ポスターセッション

セッション3

13:10 ⑨食変光星YY Eriの研究～デジタルカメラによる測光観測～ (金光学園中学・高校)

13:25 ⑩口径13cm反射望遠鏡の作製II (国立奈良工業高等専門学校)

13:40 ⑪スターカウント法による暗黒星雲の観察 (兵庫県立大附属高校)

13:55 ⑫宇宙食について (兵庫県立舞子高校)

ポスター発表紹介

14:10 ポスターのみの発表紹介 (学校紹介を含む)

P1 球状星団M3のCM図を用いた距離推定 (京都市立堀川高校) 3分

P2 ブラックホール連星SS433のジェットの特徴 (奈良県立青翔高校) 2分

P3 銀河のダークマターの質量を求める (奈良県立青翔高校) 2分

P4 太陽フレアと黒点数の変動の関係 (奈良県立青翔高校) 2分

P5 惑星カメラを使った天体観測—撮影から画像処理までの操作方法— (愛知県立一宮高校) 2分

P6 木星の縞の構造と大赤斑の形状 (滋賀県立米原高校) 2分

特別発表 P7 暗い場所は周辺の夜空の明るさに影響するのか Vol.3 (一宮市立南部中学校) 3分

発表のない学校の学校紹介 (1校×1分=3分)

白陵高校 1分

京都市立京都工学院高等学校 1分

灘高等学校 1分

14:30 ポスターセッション ポスター会場にて

15:40 会場 (ホール) へ移動案内

15:40 記念写真撮影

15:45 特別講演「天文学 × 歴史学 ～ 歴史文献から探る過去の太陽活動」

講師 京都市立芸術大学 准教授 磯部洋明 先生

16:55 閉会行事

16:58 解散

参加者のみなさまへ

※発表をされなくても生徒が参加されている学校・個人は学校紹介をお願いいたします。
(パワーポイントを作成していただければ、投影いたします。)

☆口頭発表 最初に学校紹介 1分+口頭発表 (10分) + 質疑 (生徒の質問を中心に考えています) 2分
+ コメント 2分 (研究者のコメントです)
* 引率の先生方のコメント・質問は生徒の質問時間を保証するためにポスター会場で行います。
11分で鉦1つ、12分で、鉦2つ 15分で、鉦連打

☆ポスター紹介 2分 鉦1つ

ポスターセッションは、別室で行います。ポスター掲示用ボードを用意しますので、

そこに掲示していただきます。(セロテープやマグネットなどで)

口頭発表の学校も、必ずポスターをご持参ください。

受付で、データの入っている USB メモリーをお渡しください。

プレゼン用パソコンは持ち込み可能ですが、発表を円滑に行えるように特に条件がなければ、データを USB メモリー
でもって来てください。

学校紹介も同様にしたいと思います。

☆昼食はご持参ください。学食は休日なので営業していません。

昼食はポスター会場でお済ませください。ホールは飲食禁止です。

飲料は近くに自販機があります。お弁当は大学の門の外 (歩5分) にあるコンビニで購入できます。

休憩時の飲み物などサービスはありません。

ゴミ分別回収にご協力ください。

☆名札は各自ご用意ください。

☆予稿集は各校で以下のHPからダウンロードして印刷の上、会場へお持ちよりください。

<http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/tenmon-hs/>

コメンテーターの先生方のご紹介

磯部洋明 (京都市立芸術大学)

富田晃彦 (和歌山大学)

前原英夫 (元国立天文台)

定金晃三 (大阪教育大学)

福江 純 (大阪教育大学)

松本 桂 (大阪教育大学)